

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：群馬県前橋市立富士見中学校

活動名：夢に向かってチャレンジ ～富士見スタイルのキャリア教育～

解決すべき課題：新学習指導要領において、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度や勤労観・職業観の形成が求められている。右のアンケートの結果から、「進路に関するいろいろな資料を集めている」と答えた生徒は全国平均 2.2 を下回る。今回の活動を行うことで、将来実現したい夢を見つけ、その夢の実現を目指して、努力しようとする態度を育成することを目標としている。

目標・方針：

仮説 1 進路学習ノートを使用することで、自己理解が深まり、自己の進路について考えることができるだろう。
 仮説 2 青少年と未来をつなぐ教室を実施することで、職業についての視野が広がり、中学校で勉強していることが将来役立つ意識が高まるだろう。
 仮説 3 興味をもった職業について調査やまとめを行うことで、夢の実現に向けた具体的な方法についての理解が深まるだろう。

活動内容：

活動 1 進路学習ノート (写真 3)
 事前アンケート結果をもとに自己の性格を分析した後、友人とお互いの長所について伝え合う活動を行った。

活動 2 青少年と未来をつなぐ教室 (写真 1)
 地域の商工会議所と連携をして、匠、サイエンス、グローバル、クリエイティブ、社会ビジネスの 5 コースを設け様々な職業の方から仕事をしている中でのやりがいや苦勞、今やるべきこと等の話を伺った。生徒は 1 つの希望コースが終わると次の希望コースへ移動を繰り返すことで、様々な職種について学ぶことができた。

活動 3 興味をもった職業について調査まとめ (写真 4)
 活動 2 の後、興味をもった職業について、仕事内容や仕事に就くまでのステップについて調査やまとめを行った。

活動の成果：

成果 1 活動 1 から、「長所や短所について話すことができる」と答えた生徒の平均値は、活動前 3.9 から活動後 4.6 となり 0.7 ポイント伸びた。
 成果 2 活動 2 から、「将来のために、中学校で勉強していることが役立つと思う」と答えた生徒の平均値は、活動前 3.3 から活動後 4.8 となり 1.5 ポイント伸びた。また、生徒の感想 (写真 5) からも意識の高まりが見られた。
 成果 3 活動 3 から、「夢の実現のための具体的な方法がわかる」と答えた生徒の平均値は、活動前 2.2 から活動後 3.8 となり 1.6 ポイント伸びた。これは、生徒のまとめた資料 (写真 4) から分かるように、仕事に就くまでのステップを図示してまとめたことによる成果だと考える。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

活動 1 の工夫 複数の友人 (今回は 5 人) から、自身の長所について話してもらうことで、より客観的に自己を見つめる機会となった。
 活動 2 の工夫 コースごとに科目の重要度 (写真 2) を示して中学校の科目との関連を図った。これにより、中学校の学習の内容が役に立った経験なども話していただくきっかけとなった。

(写真 1)

次の希望コースへ

(写真 2)

科目の重要度

進路に関するアンケート (生徒)

■ 活動前 ■ 活動後

対象は中学 1 年生 202 名 数値は集団の平均値 (5 が最高)

項目	活動前	活動後
興味や関心をもっている仕事がある	4.1	4.6
進路に関する色々な資料を集めている	2.1	3.3
長所や短所について話すことができる	3.9	4.6
将来のために、中学校で勉強していることが役立つと思う	3.3	4.8
夢の実現のための具体的な方法がわかる	2.2	3.8

5 よくあてはまる 4 少しあてはまる 3 どちらとも言えない 2 あまりあてはまらない 1 全くあてはまらない

(写真 3)

(写真 4)

(写真 5)